



平成29年度 第2回地域家庭教育推進南会津ブロック会議 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	平成29年12月6日(水) 時間: 13時30分~15時10分
2 会場	御蔵入交流館 多目的ホール
3 出席者数	総出席者数 計 17名 (男性11名 女性6名)
(内訳) 家庭教育支援南会津の会、絆づくりの会、地域子育てサポートチーム、学識経験者 郡小学校長会、南会津町民生委員、南会津町放課後子ども教室、下郷町学校支援員 南会津町教育委員会社会教育担当者、下郷町教育委員会社会教育担当者 檜枝岐村社会教育担当者、只見町社会教育担当者、 南会津教育事務所(所長、次長兼社会教育課長、主任社教主事、社教主事兼指導主事、主事)	
4 会議概要	<input type="radio"/> 事業経過報告 <input type="radio"/> 実践発表 <input type="radio"/> グループ協議
5 会議内容	(1) 開会式 <input type="radio"/> 開会のことば <input type="radio"/> 主催者あいさつ【 所長 佐藤 則之 】 <input type="radio"/> 日程説明・諸連絡 (2) 協議 <input type="radio"/> 事業経過報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育事業(家庭教育) 【 社教主事兼指導主事 猪股 克亘 】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> これまでの取組の成果や「取組シート」をどのように活用したかについてを交えながら今年度の事業経過を報告した。 </div>  <input type="radio"/> 実践発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒海中学校の取組について【 荒海中学校教頭 本多 正典 様 】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「親子の学び応援講座」でメディアについての講演を行ったことについて、そして「取組シート」をどう活用したかについての発表をしていただいた。 </div>  <input type="radio"/> グループ協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議の進め方について ・ 協議 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【 テーマ：家庭教育事業に若い世代をどう巻き込んでいくか 】</p> <p><進め方></p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> ① 域内の課題(実態)の把握 ② 課題(実態)の解決法 ③ その他 </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 20px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・ グループ(4名)に分かれ協議 ・ 協議の視点に沿って話し合い ・ KJ法を活用 </div> </div> </div>

<話し合いの視点>

- ① 届けたいところに届けるためには
- ② 研修会に人を呼び込むためには

<協議の結果>

実態1：他に優先することがたくさんある。仕事を休んでまで研修会に参加しようとは思わない。研修会に魅力を感じない。

- 「研修会」とするとイメージが硬い。ネーミングにも工夫が必要。
- 若い世代が興味を持つであろう内容と研修会を合わせて実施する。
- 事前に各世代に調査をし、関心の高いテーマを設定する。
- 子育てでの疑問や悩みなどを座談会などを開いて把握する。そして要望を知る。
- 講演会の流れや内容にも工夫が必要。(演習や子どもと一緒に体験など)
- 配偶者の理解も必要。夫婦で参加できる環境を作っておくことが大切。

実態2：経済的に余裕がない。子どもを学童に預け、職を掛け持つ親が増えている。

- 応援企業内での研修会を実施してみてもは。夕方からの開催も検討すべき。

実態3：親自身の問題意識が低い。親自身が成長しなければならないことに気づかない。

- 幼稚園や保育所に子どもがいる保護者に、家庭教育の大切さを訴えていく。
- 乳幼児のいる親を対象にした企画を重点的に実施する。

実態4：研修会を実施する時間帯や時期が悪いのかもしれない。

- 夕方の開催、土日の開催も視野に入れて研修会の計画を立てていく。
- 学校のスケジュールを確認して計画を立てる。

実態5：親同士の交流がなく参加しにくい。一人で参加するのが不安。

- 親同士の交流の機会を作る。研修会自体を交流の場とする。
- 子どもと一緒に参加することも可能とする。

実態6：研修会があることを知らない。

- 学校行事等の保護者が集まる場所で研修会を実施する。
- 新聞や広報誌だけではなく、SNS(ツイッターやFacebook)を利用する。



- 各グループからの発表
 - ・ A～Cグループの代表による発表
- その他

(3) 閉会式

- ・ 御礼【次長兼社会教育課長 高橋 正敏】
- 諸連絡
- 閉会のことば

6 成果・課題

1 成果

- 今年度の社会教育事業の「家庭教育」に焦点を絞って経過報告をしたことで、会に参加していただいた方々に詳細な説明ができた。
- 今後も引き続きご協力をいただけるようお願いをすることができた。参加者の方々も我々と協力して取り組んでいこうとする意欲を感じさせてくださった。
- 「取組シート」の活用についての実践報告(荒海中学校)があったことで、第1回目のブロック会議での意見も反映され、参加者の方々も満足感を得ていた。
- 1グループ4人でのKJ法を用いたことで、個人の発言回数が多くなり、参加者がそれぞれ自分の考えを述べることができた。

2 課題

- 年末の忙しい時期の開催ということで、参加できない方が多数いらっしまった。開催時期の変更や代理出席の有無なども検討していきたい。
- ブロック会議の委員組織を再検討したい。会の活性化を図るために拡大も考えたい。

